



維持管理費の低減の取組

平地農業地域

おうちがた

邑知潟水土里ネットワーク

はくいし

ほうだつしみずちよう

なかのとまち

(石川県羽咋市、羽咋郡宝達志水町、鹿島郡中能登町)

- 本地域は、石川県の能登半島基部に位置する水田地帯。ほ場整備後30年以上が経過し、水路の不等沈下等による用水機能の低下や水路・農地の法面崩壊が多くみられる。
- このため、用水路の布設替え工事や水路・法面の補強対策、法面への防草シートの敷設等を実施。これにより、用排水路の応急的な補強等の労力が軽減され、維持管理に要する負担が軽減されている。
- 併せて、活動組織を広域化することにより、担い手への農地利用集積の進展や、地域住民の共同活動への参加者も増えている。

【地区概要】

- ・取組面積 2,112ha (田2,112ha)
- ・資源量
開水路 647.8km、パイプライン 83.6km、
農道 299km、ため池 91箇所
- ・主な構成員
農業者、非農業者、自治会、JA 等
- ・交付金 99百万円(H29)

農地維持支払
資源向上支払(共同)

活動開始前の状況や課題

- ほ場整備後30年以上が経過している水田地帯。水路は不等沈下等により漏水が多発。用水機能が低下し、水量不足が発生。
- 農地法面の崩壊も多く、水田からの漏水も発生。毎年、応急措置として、水路や農地法面の土嚢積みに、多くの労力が必要。
- また、法面の草刈りの負担が大きく、部分的に除草剤を散布。



老朽化している用水路

取組内容

- 建設工事の経験者を中心に、老朽化した水路22,200mの布設替えを自主施工により実施。合わせて、水路・農地法面の補強対策を実施。
- 急勾配な水路法面など、危険な箇所を中心に、草刈りの負担軽減のため、防草シートを布設。



自主施工による水路の布設替え

取組の効果

【水路の布設替え】

- ・法面の土嚢積み作業の軽減
約630人/年

【防草シートの布設】

- ・草刈り労力の軽減
約80人/年

【維持管理負担軽減による集積率の向上】

- ・H24年度:52% ⇒ H27年度:60%

- 水路等の保全活動に対する理解が醸成され、共同活動の参加者が増加。

H24年度 H26年度

農業者 : 418人	555人
非農業者 : 234人	466人



地域住民による草刈り